第 06 －012 号

2006 年 1 月 27 日

2006 年度 ANA ｸﾞﾙｰﾌﾟ航空輸送事業計画を策定

～旅客事業では、国際・国内線ともに「ﾈｯﾄﾜｰｸｷｬﾘｱ」のｽﾀﾝｽを強化 ～
～貨物郵便事業では、国際線貨物事業の積極展開と深夜貨物便の定着 ～

ANA ｸﾞﾙｰﾌﾟでは、2006 年度（2006 年 4 月 1 日～2007 年 3 月 31 日）の航空輸送事業計画を策定、経営ﾋﾞｼﾞｮﾝである「ｱｼﾞｱでﾅﾝﾊﾞｰﾜﾝ」の達成に向けた着実な事業展開を進めてまいります。

2006 年度 ANA ｸﾞﾙｰﾌﾟ航空輸送事業計画の詳細は次の通りです。

1．概要

（1）国際線事業の概要…次世代航空機ﾎﾞｰｲﾝｸﾞ 737-700 型機などの多頻度運航

2006 年 6 月に成田空港第1ﾀｰﾐﾅﾙへの移転も控え、「ﾊﾟｰﾄﾅｰﾊﾌﾞ戦略」として欧米・中国・ｱｼﾞｱの各地域へﾊﾞﾗﾝｽ良く事業展開をはかるとともに、中・小型機の活用により、収益力の向上を図ります。

①中国路線に次世代航空機ﾎﾞｰｲﾝｸﾞ 737-700 型機を増機、小型化・多頻度運航化を推進…中国路線の需給適合による収益性高位安定に資するため、737-700 に加え、成田においては、A320-200 型機の「国際線専用仕様機」などの小型機を投入していきます。

②ｽﾀｰｱﾗｲｱﾝｽ戦略との融合によるﾈｯﾄﾜｰｸ競争力の拡充…欧州、北米、ｱｼﾞｱにおいてﾊﾟｰﾄﾅｰ会社のﾊﾌﾞ空港における接続ﾈｯﾄﾜｰｸの拡充に重点を置いた「ﾈｯﾄﾜｰｸｷｬﾘｱ型」の事業展開を推進していきます。またｱﾗｲｱﾝｽﾊﾟｰﾄﾅｰとの連携の拡充によりお客様の利便性のさらなる向上を目指します。

（2）国内線事業の概要…お客様利便の向上と「ANA らしい」高品質なｻｰﾋﾞｽの提供

国内線では、ﾊﾟｰﾄﾅｰｷｬﾘｱや地上交通機関を含めた旅客利便の最大限の向上と需要と供給の適合を推進、安全はもとより、高付加価値を約束するｽｰﾊﾟｰｼｰﾄ・ﾌﾟﾚﾐｱﾑにより、お客様に高品質なｻｰﾋﾞｽを提供する「ANA らしさ」をｱﾋﾟｰﾙします。

①関西空港発着便を増便…羽田＝関西線の増便に加え、関西＝札幌・沖縄線の増便を行い、伊丹空港と 2 月から就航する神戸空港との 3 空港の有機的な活用を行います。

②他航空会社航空とのｺｰﾄﾞｼｪｱ便を拡大…ｽｶｲﾈｯﾄｱｼﾞｱ航空*とのｺｰﾄﾞｼｪｱを行います。
（*2006 年 1 月 26 日発表済み）

（3）貨物郵便事業の概要…新会社による「国際線ｴｸｽﾌﾟﾚｽｻｰﾋﾞｽ」事業の開始

貨物郵便事業では、中型貨物専用機の増機を契機にｴｸｽﾌﾟﾚｽ事業に着手、国内線深夜貨物事業を含めた積極的な展開を図ります。

①ﾎﾞｰｲﾝｸﾞ 767 型貨物専用機による「北米～ｱｼﾞｱ間物流」への参入…貨物専用機の 4 号機導入を契機にｱｼﾞｱ各地で貨物を集荷、日本で集約し、北米に接続するﾓﾃﾞﾙにより収益力の強化を図ります。

②国内線深夜貨物事業の安定供給…運航開始から 3 年を迎えた国内深夜貨物便についても貨物専用機を活用し「深夜貨物物流」の定着を図ります。

＊これらの計画は関係当局の認可を前提としております。

全日空広報室 **03-6735-1111** 成田 0476-34-7042 羽田 03-5757-5548 伊丹 06-6856-0270 関西 0724-56-7342

A STAR ALLIANCE MEMBER

2．内容

(1) 国際線事業

①成田発着路線…「台北線」を増便します。

路線	便数（現行）	運航開始日	運航機種
成田＝台北	11 往復/週（10 往復/週）	2006 年 3 月 26 日	767-300ER

②関西発着路線…「ｱﾓｲ線」「青島線」に次世代航空機ﾎﾞｰｲﾝｸﾞ737-700 型機を投入、小型化することにより「大連線」「ｱﾓｲ線」を復便*します。（*8～10 月は両国間の取り決めによりそれぞれ一便減便します）

路線	便数（現行）	運航開始日	運航機種（現行運航機種）
関西＝大連	2 往復/週（1 往復/週）	2006 年 3 月 26 日	767-300ER（767-300ER）
関西＝ｱﾓｲ	4 往復/週（2 往復/週）	2006 年 3 月 26 日	737-700（767-300ER）
関西＝青島	3 往復/週（3 往復/週）	2006 年 3 月 27 日	737-700（767-300ER）

③777-300 型機投入による「北米 777 化計画」の達成

機内ではｲﾝﾀｰﾈｯﾄもご利用可能な最新鋭の 777-300ER 型機を増機し、「New Style, CLUB ANA」をはじめとする「ANA らしい」ｻｰﾋﾞｽが北米線全ての空を快適にします。

路線	便数	運航開始日	運航機種（現行運航機種）
成田＝ｻﾝﾌﾗﾝｼｽｺ	週 7 便	2006 年 4 月予定	*777-300ER（777-200ER）
成田＝ﾜｼﾝﾄﾝ	週 7 便	2006 年 7 月予定	777-300ER（777-200ER）

*2006 年 7 月以降、777-200ER（新仕様機）を順次投入。

(2) 国内線事業

①関西発着路線…札幌、沖縄をはじめとする長距離路線を増便します。

路線	便数（現行便数）	運航開始日
関西＝沖縄	4 往復/日（3 往復/日）	2006 年 4 月 1 日
関西＝札幌	4 往復/日（3 往復/日）	2006 年 4 月 1 日

②羽田発着路線…発着枠の有効活用により、需要の見込まれる路線を増便します。

路線	便数（現行便数）	運航開始日
羽田＝札幌	15 往復/日（14 往復/日）	2006 年 4 月 1 日
羽田＝関西*	8 往復/日（7 往復/日）	2006 年 4 月 1 日

（*2006 年 1 月 19 日発表済み）

③伊丹発着路線…需給適合と多頻度運航による競争力向上を図るため、「JET＆PROP 戦略」の一環として 9 月以降、松山線の増便を計画しております。

路線	便数	現行	運航開始日
伊丹＝松山	8 往復/日 （内 JET3 便＋PROP5 便）	7 往復/日 （内 JET3 便＋PROP4 便）	2006 年 9 月 1 日

以下次葉

（3）貨物郵便事業

①貨物専用機による路線の開設

国際線	便数	運航開始日	運航機種
関西－上海	2 片道/週	2006 年 3 月～	767-300F
中部＝ｱﾝｶﾚｯｼﾞ＝ｼｶｺﾞ	2 往復/週	2006 年 10 月～	767-300F
中部－ｱﾝｶﾚｯｼﾞ－ｼｶｺﾞ－ｱﾝｶﾚｯｼﾞ－関西	2 往復/週	2006 年 10 月～	767-300F

国内線	便数	運航開始日	運航機種
羽田－関西	2 片道/週	2006 年 3 月～	767-300F

②国内線深夜貨物事業の安定供給

2003 年 11 月より、羽田＝札幌線に就航を開始した「深夜貨物定期便」。好調な航空貨物需要に応えるべく中型貨物専用機（767-300F）を増機し、2006 年 2 月 24 日より羽田＝佐賀線に 7 往復/週投入する他、中部＝佐賀線に 7 往復/週、羽田＝関西線に 4 往復/週投入、安定供給を図ります。（2006 年 1 月 11 日発表済み）

（4）機材計画

ＡＮＡｸﾞﾙｰﾌﾟの機材に関する新規導入および退役計画は次の通りです。

	導入計画	退役計画
	機種（機数）	
ANA	777-300ER（4 機） 777-200ER（3 機） 767-300ER（2 機） 767-300Ｆ（1 機） A320-200（1 機） 737-700（6 機） DHC8-400（3 機）	A321-100（4 機） A320-200（2 機） F50（1 機）
合計	２０機	７機

（5）貨物専用便および国際線、国内線の生産量 （ｺｰﾄﾞｼｪｱ含む）

事業規模前年比	貨物専用便（国内･国際含む）	国際線（ANK 便含む）	国内線
運航回数	300%	108%	108%
座席ｷﾛ（貨物はﾄﾝｷﾛ）	285%	104%	101%

以上